

公共施設利用時の感染症対策チェックシート

提出日 令和 年 月 日

区分	チェック項目	チェック
利用内容	利用内容は、感染リスクを高める3条件(①換気が悪い密閉空間、②人が密集する場所、③近距離で会話や発声が行われる密接場面)で無いよう注意すること。	
利用前の条件	利用者への事前の案内として、①～⑤のいずれかに該当する人には、利用を控えてもらうよう呼び掛ける。	
	①高齢者や基礎疾患のある人など、感染すると重症化するおそれが高い人。	
	②利用の当日に風邪症状がある人、体調不良の人、咳がある人。	
	③過去2週間以内に発熱や風邪症状で受診や服薬等をした人。	
	④過去2週間以内に海外から帰国(入国)した人。	
	⑤感染者と濃厚接触のあった人。	
	利用場所のドアノブ・手すり等の消毒素材として、利用者側においてもアルコールシート等の調達に努める。	
	利用団体の構成員の体調チェックを行い、発熱や風邪症状がないことを確認するとともに、該当する者がいた場合は参加を不可とする。	
施設利用当日	利用者への当日の案内として、①～⑤のいずれかに該当する人には参加を控えてもらう。また、利用者には「せきエチケット」を守ってもらうよう、張り紙などによりアナウンスする。	
	応援は最小限にとどめ、保護者においても必要な送迎のみとする。	
	①高齢者や基礎疾患のある人など、感染すると重症化するおそれが高い人。	
	②利用の当日に風邪症状がある人、体調不良の人、咳がある人。	
	③過去2週間以内に発熱や風邪症状で受診や服薬等をした人。	
	④過去2週間以内に海外から帰国(入国)した人。	
	⑤感染者と濃厚接触のあった人。	
	利用者の入館の際に手の消毒を促すようにし、密集して入館しないように誘導する。	
	利用者が密集しないよう席の配置を離すなどの対策を講じ、できるだけそれぞれの距離が2メートル空けられるよう図る。	
	換気システムのない室内において窓等が開けられる所は1～2時間ごとに5～10分程度、窓を開けて換気する。	
	換気システムのない会場においては換気対策として、定期的にスタッフにより、換気を行います。(1～2時間ごとに5～10分程)	
マイクなどの共用品はできるだけ使用しないようにする。使用する場合は使用者を限定するなどの策を講じること。		
歌唱やダンス、グループワークなどは避け、スポーツにおいても可能な限り接触を避けてお互いの距離を取り、声援等大きな発声はさせないようにする。また、飲食がある場合は、パッケージされた軽食の提供等の工夫をする。		
後日感染者の施設利用の参加事実が判明した場合に備えて、後で利用者につながるよう観覧者も含め利用団体において氏名・電話番号などの把握策を講じるようにする。		
利用終了後は館内での不要な滞在を避け、速やかに退館するようにする。		
事後	施設利用後、14日以内に利用者の中から感染者が発生した場合は、三木山総合公園(0794-83-4442) 帰国者・接触者相談センター(加東健康福祉事務所0795-42-9436)に連絡を入れること。	

主催者として、上記の内容を順守して施設を利用します。

(利用日時) 令和 年 月 日 午前・午後 時 ～ 午前・午後 時

(利用場所)

(利用目的)

(主催者の団体名)

使用人数:

(主催者の代表名)

連絡先:

注1: チェック欄には○か×かを記入してください。

注2: チェック欄全てが○の場合は施設利用可能です。

注3: チェックシートは当日、施設利用前に記入し、受付に提出してください。(※提出が無い場合は、ご利用出来ません)

注4: 代表者の方はグループメンバー全員の氏名、連絡先、住所を把握しておいてください。

指定管理者: アシックスコミュニティー創造グループ